

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

真室川町



人と自然と文化が共生し、
やさしさ・美しさ・安心を共有する町

第9回子ども遊び体験天国「えんにち」

9月5日（日）に町総合保健施設駐車場にて、子ども遊び体験天国「えんにち」が開催されました。

今年で9回目の開催となりますが、町内のボランティア団体で組織する実行委員会の他に、初めて行政・こども園・福祉法人など、多くの団体からも協力してもらい開催しました。これは「異世代、地域の人たちとの交流・体験から、青少年の社会力の育成・ネットワークを作る」というねらいに、さらに近付いた格好です。

当日は参加した団体が趣向をこらし、もちつき・水鉄砲づくり・フリマなど、約500名を数える子ども達に体験をさせました。最後はたんぼぼこども園の園児がフィナーレを飾り、参加していた各世代が一体となった瞬間を感じました。



「えんにち」を見ると、様々な世代・地区・業種の大人達が体験させて支え、子ども達を見守るといふ、昔ながらの良い部分が継承されています。こういった体験を、今後も多くの子ども達に経験させていきたいものです。



大蔵村



風水にふれる里
自然と心がかようむらづくり

子どもたちに楽しい自然体験を！

小学生自然体験事業「おおくら葉山塾」を実施してから、今年で13年目を迎えました。大蔵村の豊かな自然と誇れる歴史を村の達人と称される方々から学び、体験活動を通して子ども達の『生きる力』を育むことをねらいとしています。スタッフには村青少年育成推進員が中心となり、ほかに成人の方々のボランティア等に支えられて運営しています。大蔵村ではこの『おおくら葉山塾』を青少年健全育成事業の柱として位置づけ、寒河江市に近い永松鉱山跡地周辺で2泊3日の日程で行っております。

日頃恵まれた生活環境にある子ども達は、厳しい自然を目の当たりにし、戸惑いながらも仲間と協力し合って活動をこなし、また豊かな自然の恵みに心から感激し、五感を震わせて貴重な体験をしています。今も昔も変わらず、素直な心を持つ子ども達の姿がそこには見られます。

体験活動の講師には、地域の方々の協力があり、おのおの自分の特技を活かして事業の運営に関わりを持っていただき、お互い楽しみながら実施しており、充実した活動内容となっています。

これからも、青少年推進員を中心に青少年健全育成の事業を推進していきたいと思っております。



鮭川村



「清流」と「きのこ」と
心のふる里 鮭川村

夏期巡回指導・冬期巡回指導

鮭川村では、青少年育成推進員の方々が中心となって、7月に村内の小中学生を対象とした夏期巡回活動、11月に新庄市内へ通学する高校生を対象とした冬期巡回活動を行っています。

夏期巡回指導は、下校時に、児童・生徒と一緒に歩いて帰り、またスクールバスに乗って見守り・あいさつ運動を行いました。また、



通学路の危険箇所のチェックも行いました。

冬期巡回指導は、新庄市内のスーパーなどの店舗を中心に、見守りと店員への聞き取りを行いました。また、新庄駅から羽前豊里駅までの乗車指導を行いました。

巡回後、推進員の方々に話を聞くと、元気良くしっかりあいさつのできる子ども達が多く安心したとの印象を持った方が多かったようです。

戸沢村



豊かな自然に四季のかおりと
舟唄のこだまする村

中井町とのふれあい交流事業

平成3年に始まった「中井町・戸沢村青少年ふれあい交流事業」が、今年で20回目を迎えることとなりました。これまで、夏は中井町、冬は戸沢村で交流事業を行ってきましたが、今回は20周年記念事業として8月7～9日に戸沢村を会場に中井児童12名、戸沢児童14名が参加し、雄大な最上川を舞台にいかだ下りやカヌー体験、滝つぼ遊び等で戸沢の自然を満喫しました。

また同時に中井町の町長、教育関係者も子ども達と一緒に戸沢村を訪問し、20周年記念式典も開催したところ

です。この記念式典の中で、永年にわたる交流によって育まれた青少年の健全育成をさらに促進するため、中井町長と戸沢村長並びに両教育委員長の署名により「青少年育成連携協定書」を締結しました。これにより両町村の交流が益々促進されることと思っております。

